

四季

名門イ・ムジチを率いたる

巨匠アゴスティーニが紡ぐ 四季

指揮: 沼尻竜典

近江 シンフォニエッタ 第4回

Program

ヴィヴァルディ: 「四季」和声と創意の試み Op.8より

モーツァルト: 交響曲第29番イ長調 K.201 (186a)

ヴァイオリン: フェデリコ・アゴスティーニ

2024.9.23 (月・祝) 14:00開演 (13:00開場)

大津市民会館 大ホール

S席 ¥6,000 自由席 ¥4,000

主催: 一般社団法人近江シンフォニエッタ 後援: 大津市・大津市教育委員会 滋賀音楽振興会

プレイガイド

S席は公式サイトよりお申し込みください

teket <https://teket.jp/10318/3566>

イープラス <http://eplus.jp>

大津市民会館 (窓口のみ)

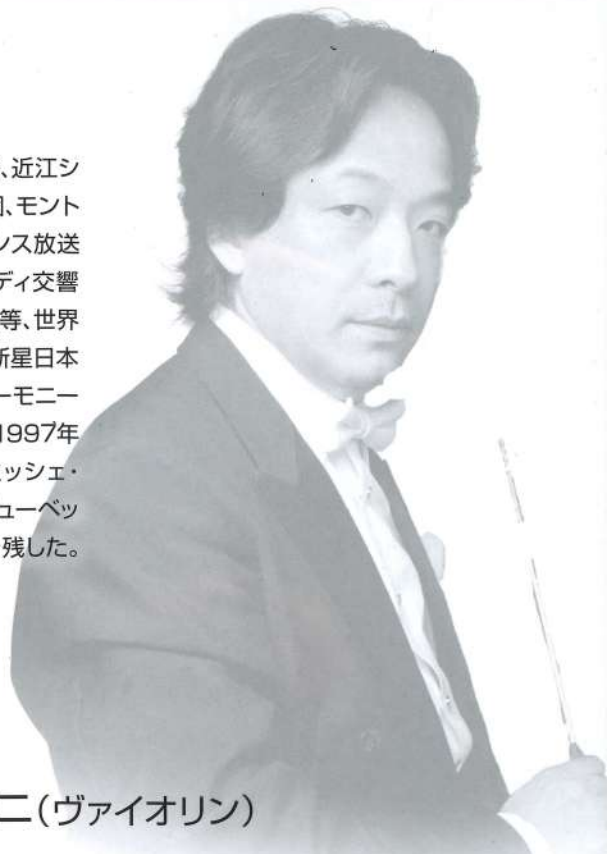
お問い合わせ

一般社団法人近江シンフォニエッタ
<https://www.omisinfonietta.com>



沼尻 竜典(指揮)

神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア音楽監督、近江シンフォニエッタアドバイザー。プザンソン国際指揮者コンクール優勝以後、ロンドン交響楽団、モントリオール交響楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、フランス放送フィルハーモニー管弦楽団、トゥールーズ・キャピトル管弦楽団、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ交響楽団、トリエステ歌劇場管弦楽団、シドニー交響楽団、チャイナ・フィルハーモニー管弦楽団等、世界各国のオーケストラに客演を重ねる。国内ではNHK交響楽団を指揮してのデビュー以来、新星日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、日本センチュリー交響楽団のポストを歴任。オペラ指揮者としては1997年に《後宮からの誘拐》でデビュー。ケルン歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン・コーミッシェ・オーパー、バーゼル歌劇場、シドニー歌劇場等へも客演。また、びわ湖ホールでは芸術監督、リュウベック歌劇場では音楽総監を務め、オペラ公演はもちろん、オーケストラ公演でも数々の名演を残した。2014年1月には歌劇《竹取物語》を作曲・世界初演、国内外で再演されている。2017年紫綬章。2022年滋賀県文化賞。



フェデリコ・アゴスティーニ(ヴァイオリン)

イタリア・トリエステ生まれ。ヴァイオリニスト、元イ・ムジチ合奏団コンサート・マスター。音楽家の家庭に育ち、6歳の頃から、祖父よりヴァイオリンの手ほどきを受ける。トリエステとベネチアの音楽院、さらにシエナのキジアナ音楽院で学び、サルバトーレ・アッカルドや叔父のフランコ・グッリらに師事する。16歳でカルロ・ゼッキ指揮のもと、モーツァルトの協奏曲のソリストとしてデビュー。数々のコンクールで優勝・入賞歴があり、ソリストとしてBBCスコティッシュ交響楽団などと、共演を重ねている。1986年から伝説的なイタリアの合奏団「イ・ムジチ合奏団」のコンサートマスターを務め、1987年からはローマ・フォーレピアノ五重奏団の、2004年よりアミーチ弦楽四重奏団の第一奏者として活躍。ヨーロッパ、アメリカ、アジア諸国など、世界各地の国際音楽祭に招聘され続けている。ドイツ・トロッシンゲン音楽大学、アメリカ・インディアナ大学、ジェイコブス音楽学部、ロチェスター大学イーストマン音楽学部にて教鞭をとった後、現在、愛知県立芸術大学、及び洗足学園音楽大学の客員教授を務める。録音は、ヴィヴァルディの「四季」を含めた協奏曲のCDとDVD (Philips)、小品集(Live Notes)、ブラームスのソナタのCD(Centaur)などがリリースされている。

第4回 近江シンフォニエッタ演奏会

大津市民会館 大ホール

2024.9.23(月・祝) 14:00開演(13:00開場)

チケット：一部指定 S席¥6,000 自由席¥4,000

プレイガイド

S席は公式サイトよりお申し込みください
teket <https://teket.jp/10318/3566>
イープラス <http://eplus.jp>
大津市民会館(窓口のみ)



アクセス

- ◆JR琵琶湖線 大津駅
(京都駅から8分)下車、北口から徒歩10分
- ◆京阪石坂線 島ノ関駅 下車 徒歩3分
- ◆びわ湖浜大津駅 下車 徒歩7分



お問い合わせ

一般社団法人近江シンフォニエッタ

<https://www.omisinfonietta.com> Mail: info@omisinfonietta.com